



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2021
4月号

No. - 552



よみがえる承久の乱 —後鳥羽上皇 vs 鎌倉北条氏—

と き／4月6日(火)～5月23日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都文化博物館 (祝日以外の月曜休館)
京都市中京区三条高倉 ☎075-222-0888

12世紀における院政の展開、1180年代の内乱、そして東国での鎌倉幕府の樹立を経て、13世紀初頭には、後鳥羽上皇が列島を統べる体制が成立します。後鳥羽上皇は、勅撰集『新古今和歌集』に結実する和歌をはじめとして、多芸多能の帝王でした。

しかし承久3年(1221)、前代未聞の事件「承久の乱」が起こり、後鳥羽上皇が北条氏率いる鎌倉御家人に合戦で敗れ、隠岐に流されたのです。この承久の乱を機に、鎌倉幕府の優位のもとで公家と武家が並存する時代となりましたが、やがてその体制にも終止符が打たれ、南北朝の内乱が展開することとなります。



源平合戦図屏風 (神奈川県立歴史博物館蔵)

本展覧会では、近年進展著しい当該期の最新の研究成果を踏まえて、皇族・貴族・武士・僧侶など、この時代の人々の息吹を伝える古文書・肖像画・刀剣・仏画や、この時代を描いた絵画類から、日本史上の重要事件の歴史的意義に迫ります。2021年は承久の乱から800年。今によみがえる乱の様相をご覧ください。



鳥羽法皇像 (部分)
(京都・古代学協会蔵
京都文化博物館寄託)



「パレメチュングのミイラ・マスク」
後50～後100年頃 ©Staatliche

国立ベルリン・エジプト博物館所蔵 古代エジプト展 天地創造の神話

と き／4月17日(土)～6月27日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／京都市京セラ美術館 (祝日以外の月曜休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4334

ロンドンの大英博物館、パリのルーブル美術館などと並ぶ世界有数の総合博物館、ベルリン国立博物館群のエジプト博物館のコレクションの中から選りすぐりの約130点を展示します。

古代エジプト人が信じた「天地創造と終焉の物語」をテーマに、「天地創造と神々の世界」「ファラオと宇宙の秩序」「死後の審判」の3章構成で、知られざる古代エジプトの神話の世界を、貴重な出土品とともに解き明かします。

長さ4メートルを超える『タレメチュエンバステトの「死者の書」』や、装飾が美しい「タイレットカプの人型木棺(外棺)」など100点以上は日本初公開です。

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	(木)	金	土
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	雛人形名品展		京の端午の節句と尚武																→5/30												
	3F	伝える－災害の記憶展 あいおいニッセイ同和損保所蔵災害資料																→5/16														
	4F	よみがえる承久の乱－後鳥羽上皇 vs 鎌倉北条氏－																→5/23														
	5F	岩崎たつお展 「本彫りの動物創作画」 第33回面風會展 －能画・狂言画－				第29回 煌めくクラフト展 第16回 素敵なニット展				第47回 京都春季創画展				第29回 祐門会 京都能面展				第14回 京都創造藝術協会展				第44回 日本画春季光玄展										
	6F	演奏会																														
	別館	第3回 きょうと椅子				音楽会				没後20年 「河島英五展 ～人生旅の途上～」																音楽会						
京都学・歴史彩館	京都学ラウンジパネル展「府大歴史学科∞歴史彩館 コラボで探る京都学(4)」(平日のみ)																															
左京区下鴨半木町1-29 723-4831	← 第6回「琵琶湖疏水新聞コンテスト」入賞作品展 (14日・29日休館)																															

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
			木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
京都市立近代美術館	3F	ビロッチェ・リスト：Your Eye Is My Island - あなたの眼はわたしの島 -																										→6/13					
左京区岡崎公園内 761-4111	4F	「ひとを描く-日本画にみる人物表現」 「日本の外光派・太田喜次郎と 大久保作次郎を中心に」																		2021年度 第1回コレクション展			「世界の工芸」 「パブリック美術協会前史： 歴史美術協会」					→6/13					
京都国立博物館	凝然国師没後700年 特別展 鑑真和上と戒律のあゆみ 前期展示：3月27日(土)～4月18日(日) 後期展示：4月20日(火)～5月16日(日)																										→5/16						
京都市 京セラ美術館	本館	コレクションルーム (京都市美術館所蔵品展示) 春期																										→6/20					
左京区岡崎公園内 771-4334	東山キューブ	第53回 かこう会展		日本山岳写真協会 関西支部展「山との対話」				国立ベルリン・エジプト博物館所蔵 古代エジプト展 天地創造の神話										MINERVA 2021		→6/27													
	別館 1F	アジア水墨画展 (公募) 2020		第44回 泰友書道展				第61回 日本南画院展 京都展										第44回 日本染織作家展		→5/2													
	別館 2F	第62回 京都写真連盟 写真展		第23回 京都墨彩画壇展				平成美術：うたかたと瓦礫 (デブリ) 1989-2019										第23回 京都墨彩画壇展		→5/2													
	別館 2F	第44回 児童画 国際交流展		25周年記念 るろうに剣心展										「ゴジラVS京都」 〈GODILLA GENERATION〉						→6/6													
京都府立 文化芸術会館	1F	京都二紀展 (洋画)				自由美術京都作家展 (美術総合)										→5/2																	
河原町府立病院前 222-1046	2F	京都二紀展 (洋画)				第53回 墨人関西展 (書)										→5/2																	
京都府立堂本印象美術館	休館	【特別企画展】椿、咲き誇る - 椿を描いた名品たち -																										→5/23					
北区平野上柳町26 463-0007	休館	【同時開催】第4回堂本印象美術館 野外彫刻展																										→5/23					
何必館・京都現代美術館	生誕120年・昭和を考える 木村伊兵衛展 (5/3以外の月曜休館)																										→5/23						
東山区祇園町北側 525-1311	画廊	滝口和男展「陶」 - 森羅万象 - 福島一二三展 (洋画)		美の予感2021 - もののあはれ - (工芸)				第50回 日本伝統工芸 近畿展 開催記念 わざの美・現在 (いま) 展 - 受賞者たちの現在 (いま) -				野田朗子 硝子展 Into Nature				加藤忠雄 彫金展				→5/4													
高島屋	美術工芸 サロン	沈明姫 うるし展		萩原由希子 陶展				日本工芸会近畿支部所属作家による ひとり呑み展				院展俊英作家小品展				柳原睦夫展 (陶芸)				→5/4													
下京区河原町四条下ル 221-8811	グランド ホール	沈明姫 うるし展		萩原由希子 陶展				日本工芸会近畿支部所属作家による ひとり呑み展				院展俊英作家小品展				柳原睦夫展 (陶芸)				→5/4													
	画廊	高橋行雄絵画展				現代アートコレクション展				柿森悦子 洋画展				原田泰治 絵画展				ディズニー アート展				→5/4											
大丸	アート サロン	河本万里子 日本画展				高岡秀造の世界				青江鞠 絵画展				松尾彩加・黒沼大泰 洋画展				マエストロ貴古 作陶展				→5/4											
中京区四条高倉 211-8111	ミュージアム	写真展 「岩合光昭の世界ネコ歩き」																												→5/4			
中信美術館	京都中央信用金庫創立80周年記念事業・一般財団法人きょうと視覚文化振興財団設立記念 須田国太郎展～油彩と能・狂言デッサン～ (月曜休館)																										→5/16						
上京区下立売池小路東入 417-2323	並河靖之七宝記念館																										→5/16						
並河靖之七宝記念館	休館																										→5/16						
三条通北裏白川筋東 752-3277	美術館「えき」KYOTO																										→5/5						
JR京都伊勢丹 7F 352-1111	時間～TIME BOWIE×KYOTO×SUKITA 鋤田正義写真展																										→5/5						
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
アートギャラリー博宝堂	ダニエルケリー展 (月曜休館)																										→5/5						
左京区岡崎神宮道東側 771-9401	アートギャラリー鵬休堂																										→5/5						
東山区東山五条上ル西入ル 541-3805	常設展 (北側店舗)																										→5/5						
アートスペース繁	常設展																										→5/5						
左京区北白川道分町1-8 080-5711-7431	アートスペース柚 (ゆう)																										→5/9						
東山区二条通東山西入 090-6916-5353	京都成章高等 学校 写真部 第25回学外展	福家省造展 (月曜休館) ～拡大するイメージ2021				姚 獅 (YAO CHONG) ～古典に宿る幻獣たち～										親子展 重達夫・森本武利 (光風)				→5/9													
綾小路ギャラリー武	貸ギャラリー受付中																										→5/9						
下京区綾小路高倉東入ル 351-4787	芸艸堂画廊																										→5/9						
中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展																										→5/9						
絵草子	浮世絵・版画・新版画常設展																										→5/9						
東山区新門前通東山西 551-9137	休廊	和田純子展 (耐熱ガラス) (木曜休廊)										休廊						高橋亜希展 (磁器) (木曜休廊)				→5/11											
延寿堂ギャラリーソフォラ	休廊	和田純子展 (耐熱ガラス) (木曜休廊)										休廊						高橋亜希展 (磁器) (木曜休廊)				→5/11											
中京区二条寺町東入 211-5552	休廊	和田純子展 (耐熱ガラス) (木曜休廊)										休廊						高橋亜希展 (磁器) (木曜休廊)				→5/11											

企：企画および常設を中心に活動する画廊 貸：貸画廊

生誕120年・昭和を考える 木村伊兵衛 展

と き／3月13日(土)～5月23日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ／何必館・京都現代美術館 (5/3以外の月曜休館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

本年は木村伊兵衛生誕120年になります。木村伊兵衛(1901-1974)は、日本の近代写真史上最も重要な写真家です。

ライカの神様といわれた木村は、その軽快なカメラの性能を生かし、それ以前に主流であった絵画的な表現から、動的印象を捉えるスナップ写真という新しい表現方法を開拓し、日本写真界に新たな潮流を生み出しました。

「昭和」という時代は大戦をはさみ、激動の時代でありましたが、彼の作品から受ける印象は驚くほど穏やかで、豊かな情緒に溢れています。木村の作品は、躍動する時代をとらえた優れたルポルタージュであり、昭和の人々の生き生きとした姿は、現代の私たちが失いつつある大切なものを、思い出させてくれます。



「秋田おばこ」
昭和28年

本展では輝かしい昭和という時代に焦点を当て、「戦前・戦後」「庶民の町」「日本列島」「人物」「秋田」といったテーマを、何必館コレクションより厳選した約60点の作品で構成し、展覧いたします。

<http://www.kahitsukan.or.jp>

記念出版『木村伊兵衛 写真集』 3,000円



「月島」昭和29年



「永井荷風」昭和29年

時間～TIME BOWIE×KYOTO×SUKITA 鋤田正義写真展

と き／4月3日(土)～5月5日(祝) 10:00AM～7:30PM
と ころ／美術館「えき」KYOTO (会期中無休) ☎075-352-1111
京都駅ビル内ジェイアール京都伊勢丹7階隣接

1972年、ロック・ミュージシャンのT-REXを撮影しに行ったロンドンで、写真家・鋤田正義はデヴィッド・ボウイと出会い、翌年には彼のワールド・ツアーに同行。以来、二人の関係はボウイがこの世を去るまで約40数年間に及んだ。ボウイは大の親日家で、京都にも何度か訪れた。1980年のある日、鋤田はボウイとプライベートな時間を京都で過ごすことになるが、その時間は今も強烈に鋤田の心に残っている。鋤田は、過去の時間を整理し再び心に刻むため、ボウイが愛した京都を撮り始めた。

本展は、当時京都で撮影したデヴィッド・ボウイの姿と今の京都を撮りおろした作品で構成する。

時空を超えて二人の旅が始まる……。

鋤田正義

1938年、福岡県直方市生。日本写真専門学校卒業後、棚橋紫水氏に師事。

広告・音楽・映画などの多様な仕事で知られている。

写真集『BOWIE×KYOTO×SUKITA』を4月発刊予定。

デヴィッド・ボウイ David Bowie

1947年、英国ロンドン生。

ロックをひとつの芸術様式へと高め、ロック史に与えた影響の計り知れなさと高く評価されている。

2016年、没。



「京都でのデヴィッド・ボウイ」



「デヴィッド・ボウイと鋤田正義」

[今月の展覧会より]

武田史子版画展 —1990～最新作まで ◆動画配信◆

と き／3月30日(火)～4月18日(日) 12:00～6:00PM
ところ／ギャラリー白川 (月曜定休)
東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

人気銅版画家・武田史子の最新作を中心に、ギャラリー白川の1990年代のコレクションと合わせて20点をご紹介します。塔や、陶器などどこかヨーロッパの香りがする「あるようでないような不思議な世界」を描いた初期の作品から、自然の草木や小鳥たちに心を寄せて緻密に丁寧に描かれた現在の作品までの変遷をお楽しみください。また、最新作「夜への散歩」では、初期の作風への回帰を感じさせられます。画廊空間や動画配信など様々な角度からお楽しみください。

(ギャラリー白川 池田真知子)



記憶の箱舟 銅版画 1997 30×30cm



夜への散歩 銅版画
2020 55×38.5cm



苦楽の実 銅版画
2019 48×34.8cm



刻の本 銅版画
2020 47×38.3cm



過去の図書館 銅版画
2017 56×45cm

福家省造展 ～拡大するイメージ2021～

と き／4月3日(土)～4月11日(日) 12:00～6:00PM
ところ／アートスペース袖 (月曜休廊 最終日は5:00PMまで)
京都市東山区二条通東山西入ル ☎090-6916-5353

コロナ禍の中で、1年間延期の後、開催させていただきます。

プロックリーやキャベツなどが大きく見えるシュールな雰囲気に加え、野菜たちを乗り物などに見立て、実際にあるような建物や風景と組み合わせることで、現実と虚構の「間」の世界をイメージし、表現しました。

一種の架空の世界を通じて、昨今の不安感だけでなく、どこかに未来への希望が見出せるような表現をさらに追求していきたいと思います。

感染予防にご留意の上、ご高覧いただけましたら幸いです。(福家省造)

◆一陽会からの評より

……混沌とした画面は、あたかも現代社会の孕む不安な状況をイメージし、閉塞して出口の見えにくい中で、生への執着や微かな希望を持ち続ける作者の心が、ユーモラスを感じさせる画面の各所から垣間見える。抑制の効いた色彩と緊密な画面構成で鮮鋭に現代という時代を顕示している。

福家省造 (ふけしょうぞう)

1954年高知市生まれ

1976年京都教育大学特修美術家卒業

1978年より一陽展に出品。同展で奨励賞、関西一陽展で神戸市長賞など

2003年 一陽展で損保ジャパン美術財団奨励賞〈当時名〉

2014年 鈴木信太郎賞

2014年・2018年 全関西美術展で第二席賞

2017年 読売テレビ賞

◇京展、京都美術工芸展、上野の森美術館大賞展、リキ

テックスビエンナーレハクの会作家展、アートフォーラム宇治A F U美術展などに出品

現在、一陽会委員・日本美術家連盟会員



「生への執着～Vの王国」
(F100号)



「画家の幻想」
(S20号)

椿、咲き誇る —椿を描いた名品たち—

と き／4月3日(土)～5月23日(日) 9:30AM～5:00PM
と ころ／京都府立堂本印象美術館 (月曜休館、5/3は閉館)
京都市北区平野上柳町26-3 ☎075-463-0007

赤、白、ピンクなど魅力的な花を咲かせる椿は、日本を代表する美しい花木のひとつとして古くから愛でられてきました。また、椿は常緑の葉を持ち、春に先駆けて開花することから、吉祥の花として多くの絵画や工芸品のモチーフにとりあげられています。

今回の展覧会では、椿をテーマとした美術作品の収集で知られるあいおいニッセイ同和損保コレクションから、尾形光琳、尾形乾山の工芸品をはじめ、横山大観、村上華岳、徳岡神泉、奥村土牛、堀文子などの日本画、さらに岸田劉生、鳥海青児、熊谷守一などの洋画もあわせた作品57点を紹介します。一堂に会した豪華メンバーによる珠玉の椿絵の数々をお楽しみください。なお、当館所蔵の堂本印象が描いた椿の絵も併せて紹介します。



奥村土牛「紅椿」
1955年頃



鳥海青児「椿」
1970年頃



小倉遊亀「椿」
1973年頃



岸田劉生「籠椿」
1924年頃

没後50年・岡村宇太郎～花鳥動物画の魅力～ 同時開催／国画創作協会の画家たち

と き／4月3日(土)～5月16日(日) 9:00AM～5:00PM
と ころ／南丹市立文化博物館 (祝日以外の月曜休館)
京都府南丹市園部町小桜町63 ☎0771-68-0081

「生ルルモノハ藝術ナリ」の宣言に始まり、大正7年(1918)、京都の若き日本画家たちによって国画創作協会が創立された。当時20～30歳前後だった画家たちは従来の日本画の価値観にとらわれることなく、個性と創作の自由を尊重し、生命感あふれる芸術の創造を目指して活動を展開した。同協会は中断期間を含めて昭和3年(1928)の解散まで、わずか10年の活動期間となったが、日本の絵画史上大きな役割を果たした。

本展は、同協会展に出品を続けた南丹市出身の画家・岡村宇太郎が没後50年という節目を迎えることから、宇太郎の初期から晩年の作品を紹介し、その画業を振り返る。

また、土田麦僊、小野竹喬、村上華岳、野長瀬晩夏、榊原紫峰、そして第1回国展後に会員となった入江波光を含めた主要6作家をはじめ、京丹波町出身の澤田石民、妖艶な美人画を描いた岡本神草や甲斐庄楠音など19人の代表作を一堂に展示する。新しい日本の絵画を生み出そう

とした当時の若者たちの苦悩と挑戦の末に生まれた名品の数々を、芳春の丹波路散策のおついでに是非お楽しみいただきたい。



岡村宇太郎「日没頃」
大正13年 第4回国展
(京都国立近代美術館蔵)



岡村宇太郎「舞妓図」
大正14年頃
(福島県立美術館蔵)



チラシのおもて面

〔今月の展覧会より〕

凝然国師没後700年 特別展 鑑真和上と戒律のあゆみ

と き／3月27日(土)～5月16日(日) 9:00AM～5:30PM
ところ／京都国立博物館・平成知新館(5/3以外の月曜と5/6休館)
京都市東山区東山七条(茶屋町527) ☎075-525-2473

鑑真(がんじん 688～763)は、中国・唐時代の高僧で、律の大家として尊敬を集めました。しかし、日本での戒律の整備を目指していた聖武天皇の意を受けた日本僧・栄叡(ようえい)、普照(ふしょう)より懇請され、その地位をなげうち、五度の日本への渡航失敗と失明をもものともせず、天平勝宝5年(753)、6度目にしてようやく日本の地を踏みしました。その後、唐招提寺を拠点に、中国正統の律の教えを日本に定着させ、日本仏教の質を飛躍的に高めました。

律とは僧侶のあるべき姿を示し、戒とは僧俗の守るべき倫理基準です。戒律を学ぶことは、僧侶とは何か、仏教とは何かを問直すことでもあり、日本が社会変動を迎えるたびに、幾多の名僧が戒律に注目し、仏教の革新運動を起しました。特に、鎌倉時代には、唐招提寺の覚盛(かくじょう 1194～1249)、西大寺の叡尊(えいそん 1201～1290)、泉涌寺の俊苜(しゅんじょう 1166～1227)をはじめ、没後700年を迎える凝然(ぎょうねん 1240～1321)などの英傑が登場し、戒律の精神にもとづき社会福祉事業などを行い広範な支持を集めました。

そして、安定社会に見える近世においても、明忍(みょうにん 1576～1610)や慈雲(じうん 1718～1805)などによって重要な律の復興運動が展開されました。

本展では、日本仏教の恩人と言うべき鑑真の遺徳を唐招提寺に伝えられた寺宝によって偲ぶとともに、戒律の教えが日本で辿った歩みを、綺羅星のような名僧の活躍と関係諸寺院の名宝を綴ることをご紹介します。



国宝・鑑真和上坐像
(奈良・唐招提寺)

京都中央信用金庫創立80周年記念事業・
一般財団法人きょうと視覚文化振興財団設立記念

須田国太郎展 ～油彩と能・狂言デッサン～

と き／4月7日(水)～5月16日(日) 10:00AM～5:00PM
ところ／中信美術館(月曜休館) ☎075-417-2323
京都市上京区下立売通油小路東入西大路町136-3

近代洋画の巨匠・須田国太郎氏(1891-1961)が京都の地で日本の精神文化に根差した日本本来の油彩画の在り方を追求し続けた軌跡を辿る展覧会。

須田は京都帝国大学で美学・美術史を専攻、関西美術院でデッサンを学んだ後、スペインに留学してヴェネチア派絵画の色彩表現やバロック絵画の明暗法を独自研究。帰国後、真摯な姿勢で創作活動を続けるとともに、多くの展覧会の審査員や大学での絵画実習を担い、日本の近代洋画壇の発展に貢献した。

また、須田は能・狂言に生涯強い関心を寄せ、観能の際には、舞台を注視しながら手元では役者の動きを次々とデッサンに留めていた。

画布に描いては黒絵具で塗り消し、その上に描くことを繰り返すという制作過程から生み出された作品は、深い重厚感と圧倒的存在感が異彩を放つ。

須田の生誕130年、没後60年の節目を迎えるにあたり、本展では、珠玉の油彩画とともに、躍動感あふれる能・狂言のデッサンを展示、その奥深い魅力を紹介します。

◎講演会

日時：2021年4月15日(木) 1:30PM～

会場：京都府立府民ホール“アルティ”

詳細は中信美術館HP(<https://www.chushin.co.jp/bijyutu/exhibition/>)をご覧ください。



「鶇」1952年
(京都国立近代美術館蔵)



「犬」1950年
(東京国立近代美術館蔵)

会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 5/1																												
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
御池画廊 北区小北上総町20-2 492-3083		洋画/日本画常設展 (日祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田 遙邨・熊谷守一 他																												
カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996		日本画・洋画常設展																												
画廊後素堂 中京区新町丸太町下ル 231-0938		貸画廊受付中																												
画廊たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225		日本画常設展																												
ぎおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717		たま・春の新作 シルバーアクセサリー展 安部和美	大きいサイズの帽子展 帽子屋ポピンズ 三角瑞代	洋服とアクセサリー展 廣瀬光美		染め彩々 (手描きローケツ染) 藍染展 (越智由利)	→5/2																							
喜聞堂アートスペース余花庵 中京区寺町通御池上ル 212-9793		書 中川聖久の世界「水」																	藍染・生け花・彫金 「菜 sukumo-芽吹き」	49年目のアートな生活 京都教育大同窓生作品展	→5/2									
ギャラリーM 中京区蛸薬師高倉西 221-0979		桜と邦楽の調べ展 (松本祐佳)																												
ギャラリー祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828		ランディ・ ソシエテ展		第29回 染めと 織り in 祇園	忍びの墨画展	第7回 ボタニカル・アート 作品展		リサイクル 着物展	→5/2																					
ギャラリー吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955																			第22回 宮本絵画教室展	青美 春季展	→5/2									
ギャラリーCreate洛 中京区丸太町通堺町角 708-7898		榎並和春展 (洋画)	大西正視展 (水彩画)	大東純子・近藤慧子・根垣睦子 三人展 (1F/洋画) 近藤慧子展 (2F/洋画)	増田力也展 (洋画)	小柳晟遺作展	→5/2																							
ギャラリーK 中京区寺町二条下ル西側 255-7518		常設展																												
ギャラリー恵風 左京区丸太町大丸東入 771-1011	1F 2F	「HANGA」NEXT GENERATION 野野佐知子・西村沙由里 露生まじか・吉田潤 宮本承司	木代喜司展 (平面・立体) 伊藤萌・山崎結子二人展 #-mesh- (版画)	休廊 休廊	黒田克正展 (平面・立体) (月曜休廊)	休廊 休廊	片山 みやび展 (平面・ガラス)	→5/9																						
ギャラリー胡々湾 東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460		Cherish 主催の展覧会 (詳細はHPをご覧ください)																												
会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 5/1																												
ギャラリー佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767		社会状況により休廊します																												
ギャラリー三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401																														
ざらりい思文閣 東山区古門前大丸東入 761-0001		黒田征太郎展 (本社開催) 「18歳のアトム」																												
ギャラリー白川 東山安井東一筋日南 532-2616		武田史子版画展 (動画配信) (月曜休廊)																												
ギャラリー翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154		久留米かすり 工房展 (藍染、小物他)	第6回 アトリ喜心 絵画教室 作品展	オルゴールと木工展	NHK文化センター 「日本画に親しむ」 教室展	たかのさき 幻想画 展	→5/2																							
ギャラリー16 東山区三条通白川橋西入ル 751-9238		橋川昇平展 「P」 (インスタレーション)	〈Discover Japan ? 〉(月曜休廊) 庄司達 コピーによる作品1972 (コピーによる作品)																	赤松加奈「ここで描く」(平面) (月曜休廊)										
ギャラリーSpace妙 左京区松ヶ崎町1-1 090-6605-0656		貸ギャラリー受付中																	春のコレクション展											
ギャラリー創 中京区河原町御池上ル 251-0522		日本画・洋画常設展																												
ギャラリーTAJIRO 東山区糺手通新橋下ル 0774-27-1733		貸画廊受付中																												
ギャラリー鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164		常設展 近代絵画の軸・額・器物等 100点余展示 (6・9・18・19・28・29・30日休廊)																												
ギャラリー富小路 下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576		休廊																												
ギャラリーなかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632		宮永東山展 (陶芸) (月曜休廊)																												
ギャラリー中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253		高橋文雄 遺作展	休廊	岡田保博・八重子 陶展	第6回「エムプロイダー」 作品展 主宰 夜久さと美	山出尺子展	→5/2																							
ギャラリー白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427		白崎信子ガラス作品常設展																												

「開館50周年記念・夢を巡る/絵画の名品より」展：3月20日～7月4日

大山崎山荘美術館 〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3 ☎075-957-3123

「神業ニッポン、明治のやきもの一幻の横浜浜・東京焼一」展：3月20日～6月6日

滋賀県立陶芸の森陶芸館 〒529-1804 滋賀県甲賀市信楽町勅旨2188-7 ☎0748-83-0909

「鑄物モダン・花を彩る銅NOうつわ」展：3月13日～5月16日

住友コレクション・泉屋博古館 〒706-8431 京都市左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 ☎075-771-6411

「朝鮮の仏さま」展：4月1日～8月17日

高麗美術館 〒603-8108 京都市北区紫竹上岸町15 ☎075-491-1192

会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 5/1																													
		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
貸 企 ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	山本俊夫個展 (日本画)		野見山暁治展 - 描きつづけて100年 - (油彩・水彩・銅版画) (月曜休廊)														伊庭新太郎展 (二科会名誉理事) (油彩・水彩)				水村喜一郎展 (油彩・デッサン・竹紙絵)									
	2F	詩画集「生きる水」出版記念 島海太郎版画展		若林亮 野外彫刻展 - 刻々と、 -																											
企 ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展																														
貸 企 ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F																														
	4F	村中修 (写真)		村中修 (写真)		悠友会 (陶芸)		未定		清水佑季 (ろう染)																					
	5F																														
貸 企 ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	MIEKO MINTZ (月曜休廊) カンタの世界～インドの刺し子～										高木唯可 水彩画展										工藤和彦・うつわ展 (月曜休廊)										
企 ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「龍馬と酢屋」常設展																														
企 ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (水曜・日曜休廊)																														
企 ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321											驚異のボールペン画・西脇直毅新作展 「意気猫々 (いきびょうびょう)」 1～6PM (月・休)																				
貸 企 ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	夏の茶道具 or 天田毅青白磁展 絵画・工芸品処分市 (12・19・26日休廊)																														
貸 企 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																														
企 京都芸大ギャラリーアクア 中京区御池通堀川東入 253-1509	京都市立芸術大学退任記念 (月曜休廊) 堀口豊太「日本という場所」										京芸transmit program 2021 (月曜休廊) 大槻拓矢・岡本秀・北村雄大「棒立ち」																				
企 京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000	黒田大スケ展		co-program 2020 カテゴリー採択企画・野村由香「生活のためのストレッチ 共同制作」																												
企 京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	常設展 (水曜・休館)																														
会場	日曜	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 5/1																													
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
貸 企 京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F	清永安雄 写真展																													
	2F	田中昭二 写真展 「花寂く」		榎本敏雄 プラチナプリント展 「薄みの櫻」										三田崇博写真展 「Pray for Myanmar」																	
企 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	守崎正洋 陶展 (木曜休館)										八木美詠子 陶展～花霞～ (木曜休館)										田中大輝 陶展									
	2F	内海大介×shima.陶展～こまやかなうつわたち～ (木曜休館)										毛利愛美子 陶展 (木曜休館)										谷口晋也 陶展 ～茶具色々									
貸 企 京都万華鏡ミュージアムアートのスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	彩華展		当館の間、ギャラリー開館時間を11:00～17:00 (最終入館16:30)に変更します。 展示期間変更等、当館HPで最新情報をご確認ください。										あすなる会 押花アート展										etote展								
貸 企 堺町画廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	今月の予定については、画廊ホームページをご覧ください。 Sakaimachi-garow.com																														
貸 企 里見有清堂 中京区堺町三条上ル 221-5423	貸画廊受付中																														
企 蔵丘洞画廊 中京区御池寺町東入 255-2232	常設展										上田泰江展																				
企 大雅堂 東大路通祇園上ル 541-7388	常設展 (日・祝休廊)										嚙矢祭-其之百十一- 村上裕二展 ～ニッポンとは～										休廊										
企 玉山名史刀 (たまたま・めいどろ) 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展示																														
企 梅軒画廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510	日本画常設展																														
貸 企 ポルタギャラリー華 下京区京都駅前地下街 365-7533	休館		西村昌佐子 銅版画展		休館		技を楽しむ～工芸の美2021～										休館		日本画四人展 井上美紀/小田賢 落合浩子/烏山武弘												
企 星野画廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	東海道 五十三次展		休廊		明治・大正・昭和名作発掘展 ～春を楽しむ絵画特集～ (日・月休廊)																										
企 松本松栄堂 中京区寺町東川上ル 212-0626	新・古書画常設展																														
企 村田画廊 左京区松ヶ崎泉川町18-4 703-8960	日本画常設展																														

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事に掲載している作品の画像は、当画廊のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>